

おおたの未来づくり 単元計画書

大五小

単元名	「オリジナル”ネジマル”を開発しよう」第5学年		
内 容	ものづくり	総時間数	18
目 標	オリジナル“ネジマル”を開発するプロジェクトを通じて児童1人1人が自分のもち味を發揮しながら主体的・協同的にプロジェクトに参画しようとする態度を養うとともに、担当する役割を推進するための知識や技能を活用し、相手意識に立って考え、想像する力を育成する。		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の学習で、大田区の優れた技術をもつ中小工場について振り返り、その中に、「ハタノ製作所」という工場があることを知る。 ・ハタノ製作所では、どのような技術をもち、どのようなもの(作成しているものとネジマル)を作成しているか話を伺う。 ・ハタノ製作所の方にネジマルで使用しているネジについて紹介してもらい、自分たちの身の回りにはどのようなネジやボルトが使われているかネジ探しを行う。 ・見つけたネジをタブレットで撮り、何に見えるかを友達に紹介する。 ・ハタノ製作所の方がどのような思いでネジマルを作成しているのか、また購入した人たちにとってネジマルがどのような役割を果たしているかを調べる。 ・大田の未来づくりの学習で、ハタノ製作所の方と共にオリジナル“ネジマル”を開発してみないかという誘いを受ける。 ・自分たちの開発したネジマルが購入した人にとってどんな役割を与えてほしいかを話し合い、コンセプトを設定する。 		<ul style="list-style-type: none"> ・担当の方から、ハタノ製作所の技術や工場でのどのようなものを作成しているか話を伺い、共同開発の誘いをしていただく。
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションに向けての準備をする。(試作品やイラスト、プレゼンの作成) ・各グループが開発したネジマルのプレゼンテーションをコンペ形式で行い、ハタノ製作所の方からのフィードバックを受ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・担当の方から、アイテム作成や作成に係る助言をいただく。コンペにも参加していただく。
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・コンペを行って決定したアイテムの販売(配布)に向けて必要な担当を考え、役割を分担し、担当ごとに作業をすすめる。 (例) ちらし作成 商品の説明 看板やのぼり、POPの作成 商品の管理(数・予算・包装)など ・イベントを行い、アイテムを配布(販売)する。 ・担当の方からフィードバックを受け、学習を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ハタノ製作所の方から協力をいただき、商品の作成、フィードバックをいただく。
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ・筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考えること。 		3
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・工場生産にかかわる人々は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解すること。 		3
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・百分率を用いた表し方を理解し、割合などを求めること。 ・円と関連させて正多角形の基本的な性質を知ること。 		1
家庭科	購入に必要な情報を活用し、身近な物の選び方、飼い方を考え工夫すること。		2
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。 		3
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 		6

単元名	「ブルトラ広め隊」第6学年		
内 容	Aものづくり	総時間数	18
目 標	<p>児童が考えたブルトライアングルプロジェクトのイベントで保護者や地域の方に向けて配布(販売)するブルトライアングルのオリジナルアイテムを企画・制作する活動を通じて、児童一人一人が自分のもち味を發揮しながら、主体的・協働的にブルトライアングルプロジェクトに参画する態度を養うとともに、担当する役割を推進するための知識や技能を活用し、相手意識に立って考え、創造する力を育成する。</p>		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが考えたブルトライアングルプロジェクトを続ける広めるためのアイデアについて振り返る。 気生堂印刷株式会社の方から自分たちの考えた企画を実践する際に配布(販売)するオリジナルアイテムをつくってみたいかという誘いを受ける。 条件(予算や材料・規模等)を基に、手にした人にとって、どんなメリットのあるアイテムを作ったらよいかアイデアを出し合い、コンセプトを設定する。 		<ul style="list-style-type: none"> 気生堂印刷株式会社
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 協力企業から、ペーパーアイテム等の事例を紹介していただき、(クリアファイル、ペーパークラフト、コースター、カレンダー、チラシ、資料など)条件の中でつくることができるアイテムを検討する。 プレゼンテーションに向けての準備を行う。(試作品やプレゼンの作成) 作成するアイテムのプレゼンテーションをコンペ形式で行う。 		<p>気生堂印刷株式会社にアイテム作成や作成に係る助言をいただく。コンペにも参加していただく。</p>
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> コンペを行って決定したアイテムの販売(配布)に向けて必要な担当を考え、役割を分担し、担当ごとに作業をすすめる。(例) ちらし作成 商品の説明 看板やのぼり、POPの作成 商品の管理(数・予算・包装)など イベントを行い、アイテムを配布(販売)する。 気生堂印刷の方からのフィードバックを受け、学習を振り返る。 		<p>気生堂印刷株式会社に協力をいただき、商品の作成、フィードバックをいただく。</p>
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考えること。 		4
算数	<ul style="list-style-type: none"> 小数や分数の計算能力を定着させ、それらを用いる能力を伸ばすこと。 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値を用いて問題の結論についてはんだんするとともに、その妥当性について批判的に考察すること。 		4
図工	<ul style="list-style-type: none"> 親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること。 		2
総合	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けること。 		8

単元名	「発見・発信大五の魅力」第5学年		
内 容	B地域の創生	総時間数	17
目 標	<p>大森第五小学校のよさを広く知ってもらうためのコンセプトを考え、その価値を分かりやすく伝えることができる。</p> <p>収集した情報を基に、大森第五小学校の魅力を生1年生やその保護者、地域の人々に広めるためのコンセプトを考え、創出したものをよりよいものにするために試行錯誤や工夫を重ねることができる。</p> <p>地域の一員として、大森第五小学校のよさや魅力をすすんで考え、学校のよさを広げていこうとする意欲をもち、友達や地域の方と協働的に取り組もうとしている。</p>		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> 来年度は最高学年になり、大森第五小学校を支える立場になることを知り、どんな6年生になりたいか最高学年としてのイメージをもつ。 校長より「大森第五小学校の宣伝部長となり、来年度入る1年生やその保護者、卒業生や地域の人々に大森第五小学校の魅力を広く知ってもらうための案を出してほしい」と依頼を受ける。 大森第五小学校のよさや魅力、特色を考え、話し合う。 学校の先生や保護者に学校のよさを取材する。 幼稚園・保育園と連携し、入学前の保護者はどのようなことを知りたいと思っているのか調査をする。 		<ul style="list-style-type: none"> 公立幼稚園・保育園の保護者に調査の協力をしていただく。
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことを基にどのような内容をどんな方法で紹介したらより大森第五小学校のよさや魅力を知ってもらえるか意見を出し合う。 案を校長に提案し、フィードバックをしてもらう。 学習問題と学習計画について確認する。 フィードバックをしてもらったことを基にコンセプト設定を行う。 設定したコンセプトごとに企画書を作成する。 プレゼンテーションを行うために必要な視点やスライドの作り方を確認する。 作成した企画書を基にプレゼンテーションの準備を行う。 中間発表会を行い、友達からアドバイスをもらう。 もらったアドバイスを整理、分類し、課題を確認する。 課題を基にプレゼンテーションを改善する。 		
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> 改善したプレゼンテーションをコンペ形式で幼稚園や保育園の先生方にみていただき、評価してもらう。 コンペを行って決定した案の実行に向けて、役割分担をし、担当ごとに作業をすすめる。 イベントを行う。 イベントに参加してもらった方からフィードバックをいただき、学習を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> 公立保育園や幼稚園の先生にコンペに参加していただき、フィードバックをいただく。 イベントに参加していただいた方からフィードバックをいただく。
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考えること。 		3
社会	<ul style="list-style-type: none"> 情報の種類、情報の活用の仕方などに着目して、産業における情報活用の現状を捉え、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。 		2
算数	<ul style="list-style-type: none"> 目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論について多面的にとらえ考察すること。 		3
総合	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 		9

単元名	「アゲハチョウが舞い飛ぶまち～平和島～」第6学年		
内 容	B地域の創生	総時間数	17
目 標	<p>大田区の東京オリンピックパラリンピック競技大会に向けた取り組み「ブルートライアングルプロジェクト」の概要について知り、今後もブルートライアングルプロジェクトを続ける、広く知ってもらうためのコンセプトを考え、その価値を分かりやすく伝えることができる。</p> <p>収集した情報を基に、ブルートライアングルを学校・地域に広めるためのコンセプトを考え、創出したものをよりよいものにするために試行錯誤や工夫を重ねることができる。</p> <p>地域の一員として、地域創生に参画しようとする意欲をもち、友達や地域の方と協働的に取り組もうとしている。</p>		
指導計画の概要			
学習過程	主な学習活動		外部連携・教材等
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・大森第五小学校で取り組んできた「ブルートライアングルプロジェクト」について思い出す。 ・校長より「ブルートライアングルプロジェクト」を続ける、広く知ってもらうための案を出してほしいと依頼を受ける。 ・区の方より「ブルートライアングルプロジェクト」の概要や区の取り組み、アゲハチョウ等について講和を受ける。 		<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録の写真 ・大田区都市基盤整備部地域基盤整備第二課の方
デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・案を出し合い、4象限マトリクスに整理、分類し、意見を絞る。 ・絞った案を校長に提案し、フィードバックしてもらう。 ・学習問題と学習計画について確認する。 ・フィードバックをしてもらったことを基にコンセプト設定を行う。 ・設定したコンセプトごとに企画書を作成する。 ・プレゼンテーションを行うために必要な視点やスライドの作り方を確認する。 ・作成した企画書を基にプレゼンテーションの準備を行う。 ・中間発表会を行い、友達からアドバイスをもらう。 ・もらったアドバイスを整理、分類し、課題を確認する。 ・課題を基にプレゼンテーションを改善する。 		
クリエイション	<ul style="list-style-type: none"> ・改善したプレゼンテーションを発表し、評価してもらう。 ・出た案をクラス全員で取り組めるような形にまとめ、役割を分け、準備を行う。 ・イベントを行う。 ・イベントに参加してもらった方からフィードバックをいただき、学習を振り返る。 		<ul style="list-style-type: none"> ・隣のクラス・校長 ・大田区都市基盤整備部地域基盤整備第二課の方 ・イベントに参加した方
本単元を行うために授業時数を削減する教科等、本単元で補完する内容及び削減する授業時数			
教科等名	本単元で補完する内容		授業時数
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ・互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ・筋道の通った文章になるように文章全体の構成や展開を考えること。 		4
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・国や地方公共団体の政治は、国民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図る大切な働きをしていることを理解すること。 		1
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体とつくりと働きについて追及する中で、生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養うこと。 		2
家庭科	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と家族、地域とのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活、地域をよりよくしようとする実践的な態度を育てること。 		3
総合	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人、もの、ことの中から問いを見出し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付けている。 		7